取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要(集計、分析、評価の方法)

当社取締役会は、取締役会の実効性を分析・評価するために、自己評価として全取締役会メンバーに対するアンケートを実施し、当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。

(1) 実施時期

2025年1月

(2) 回答者

全取締役会メンバー

監査等委員でない取締役6名、監査等委員である取締役4名(うち社外3名) 合計10名

(3) 評価方法

無記名式によるアンケート

(4) 質問概要

取締役会の構成/運営/議論/モニタリング機能、社外取締役のパフォーマンス、取締役に対する支援体制、トレーニング、株主(投資家)との対話、ご自身の取組み、総括

(5) アンケート結果の集計

外部機関にて取り纏め実施

(6) 分析·評価

アンケート結果をもとに、取締役会にて取締役会の実効性についての分析と評価を行うとと もに今後の課題について議論

2. 分析評価結果の概要

当社取締役会は、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点について、当社の取締役会はその役割期待を適切に果たし、取締役会の実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- (1) 取締役会における審議項目数は適切であり、審議に必要な時間は十分に確保されていること
- (2) 取締役会資料は、事前の検討が可能となる適切な時期に提供されていること
- (3) 株主(投資家) との対話の状況について、取締役会へのフィードバックが十分になされていること
- 一方で、今後改善すべき点として以下の点が挙げられました。
- (1) 取締役会の規模・構成の検討
- (2) 後継者計画についての議論の必要性
- (3) 経営陣の報酬制度・報酬額に関する報酬委員会から取締役会への答申内容の充実

3. 今後の対応について

今回の分析評価結果は、2026 年3月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、中長期的な課題について引続き取締役会で議論していくことと致しました。また、当社取締役会は、取締役会の更なる機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。